

企業研修の新戦略

リスキリングを加速させるLMS活用の最前線

Canvas LMSを使った活用例



レゾナント・ソリューションズ株式会社

1 eラーニングの市場規模と課題

現在の人材育成における課題

2 リスキリング成功のカギ

成功に必要な3つの要因

3 Canvas LMSとは

概要と主な特徴

4 導入企業一例

国内外の導入企業

5 コース (学習) 機能の特徴

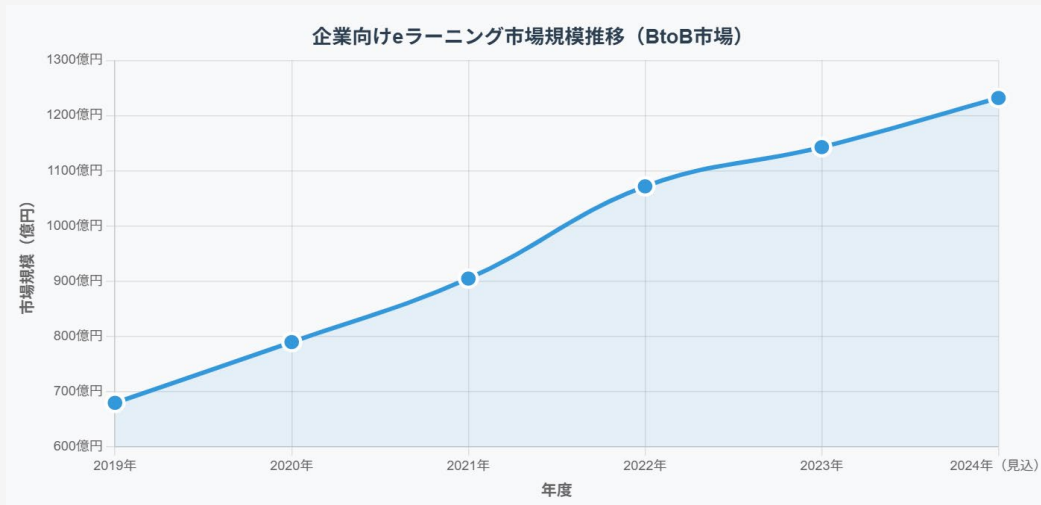
コース画面の主な特徴

6 主要機能

学習進捗の可視化・モバイル学習・アプリとの連携・認証サービス・データ利活用・マイクロバッジ・ストリーミング動画

7 期待できる導入効果

具体的な4つのメリット



企業向けeラーニング市場規模 (2024年)

1,232億円 (前年度比7.8%増)

研修市場全体に占めるeラーニングの割合は、
2019年の12.9%から2024年の20.2%へと大幅に増加

出典元: 株式会社矢野経済研究所「eラーニング市場に関する調査 (2025年)」
(2025年4月22日発表)

よくある課題

- ❌ 「受講させるだけ」の形骸化 (けいがいか)
受講だけで終わり、学びが業務に活かされていない
- ❌ 自主性・継続性の欠如
社員の学習意欲維持と継続的な取り組みの難しさ
- ⓘ **DX・AI分野のスキル需要**
急速に変化するテクノロジーへの対応と人材育成が急務



成功要因の3つの柱

📄 学習進捗の可視化

管理者が学習状況を把握し、適切なタイミングで介入できる環境が継続率を高める

👤 一人ひとりに合った学びの設計

個人のレベルや目標に合わせたパーソナライズされた学習体験が意欲を向上

🔄 継続的な動機付けとフォロー

データを活用した適切なフィードバックと学びの習慣化が成果に直結

※Canvas LMSはこれらの課題を一つのプラットフォームで解決

主な特徴

🏠 北米での導入シェアNo. 1 ※1

北米でのLMS (学習管理システム) の導入実績でトップシェア

🧠 直感的な操作性と拡張性

シンプルな画面で全ユーザーが活用可能。豊富なアプリ連携で機能も拡張

☰ マルチテナントでの組織管理

支社、部門など専用テナントを作成し、ユーザー・コース管理を効率化

🛡️ 堅牢なシステムとセキュリティ ※2

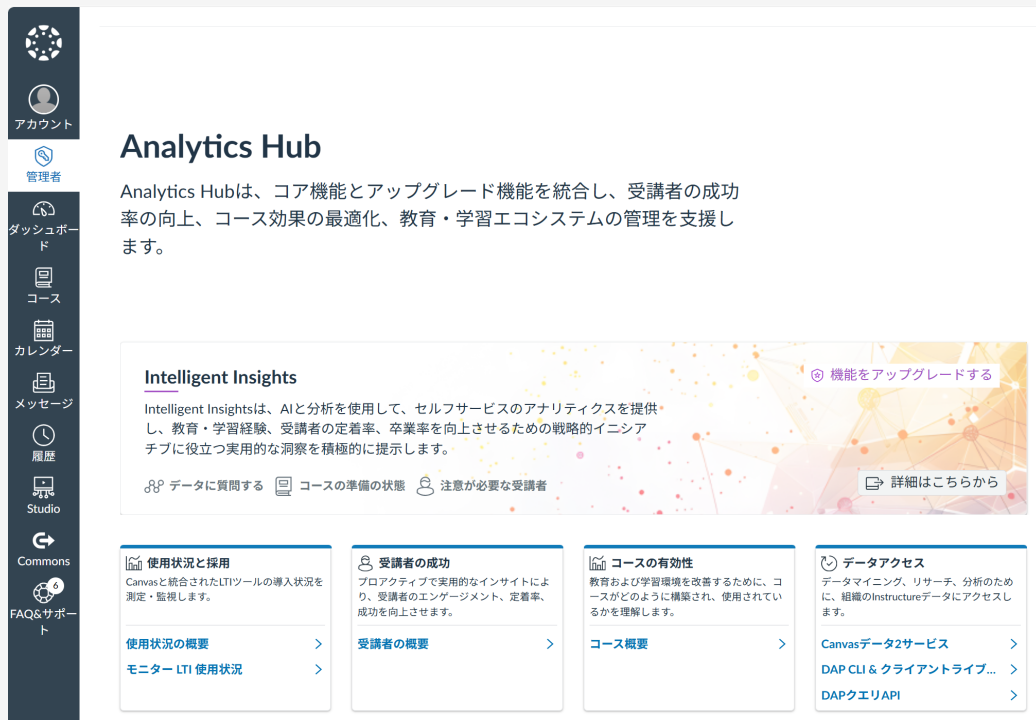
99.9%のシステム稼働実績。AWSのWAFでデータもしっかり保護

📄 データドリブンな意思決定を支援

管理者向けレポートやAIを使った高度な分析機能で研修効果を最大化

※1 出典元: [What 25,000 Implementations Tell Us About the North American LMS Market](#)

※2 出典元: [ARCHITECTURE OVERVIEW](#)



The screenshot shows the Canvas Analytics Hub interface. On the left is a dark sidebar with navigation icons for Account, Admin, Dashboard, Courses, Calendar, Messages, History, Studio, Commons, and FAQ & Support. The main content area is titled "Analytics Hub" and includes a description: "Analytics Hubは、コア機能とアップグレード機能を統合し、受講者の成功率の向上、コース効果の最適化、教育・学習エコシステムの管理を支援します。" Below this is a section for "Intelligent Insights" with a sub-header "機能をアップグレードする" and a description: "Intelligent Insightsは、AIと分析を使用して、セルフサービスのアナリティクスを提供し、教育・学習経験、受講者の定着率、卒業率を向上させるための戦略的イニシアチブに役立つ実用的な洞察を積極的に提示します。" At the bottom, there are four data cards: "使用状況と採用" (Usage and Adoption), "受講者の成功" (Learner Success), "コースの有効性" (Course Effectiveness), and "データアクセス" (Data Access). Each card has a brief description and a "詳細はこちら" (View details) link.

国内外の導入企業

国内外の有名企業も社員研修を目的に
Canvas LMSを導入・活用

テクノロジー企業:

AWS Apple Accenture Cisco

ヘルスケア企業:

Inova Health Maine Medical Kaiser Permanente Scattergood

教育・グローバル企業:

Benesse Elsevier PGA

製造・エネルギー企業:

Yamaha Chevron BAE Systems

コース (学習) 機能の特徴



学習や継続のしやすさを工夫

The screenshot shows a course management interface with a dark sidebar on the left and a main content area. The sidebar contains icons for Home, Account, Dashboard, Course, Group, Calendar, Messages, Studio, and FAQ. The main area is divided into sections: 'スタートガイド' (Start Guide), 'モバイルアプリ' (Mobile App), 'Canvas Catalog & Credentials', and '診断テスト (マスターリーパス)' (Diagnostic Test). A 'タスク' (Task) section is also visible, listing items like 'バーチャルオフィスアワー' and '20250930_テスト01'. A 'コース Chat' button is located at the bottom right of the main area.

① ホームメニューから素早くメニューにアクセス可能。メニューもアイコンとシンプルなメニュー名で分かりやすさを追求

② スタートガイド、モバイルアプリ、Canvas Catalog & Credentials、診断テスト (マスターリーパス) の各セクションが整理されている。

③ コース分析、コースカレンダーを表示、コースの通知設定を表示する

④ タスク

⑤ コース Chat

① グローバルナビゲーション

一番左側の固定メニューから素早くメニューにアクセス可能。メニューもアイコンとシンプルなメニュー名で分かりやすさを追求

② モジュール

学習するコンテンツをフォルダ単位でまとめて、分かりやすく整理。学習期限の設定、診断テストの結果で各受講者が学習するコンテンツの自動表示も可能

③ コース分析

コースでの自身の成績を自動で計算し表示。散布図による各課題やテスト結果の可視化、週単位の活動データの可視化の機能もあり

④ タスク

課題、テストなど、期限があるものを自動で表示し、ワンクリックでアクセス可能。日程が明確に表示されるため、タスクの優先順位をつけやすくなる

⑤ チャット

チャット機能で受講者とコミュニケーションが可能。受講者同士で交流などを行うことで、学習へのモチベーションも向上

主要機能1: 学習進捗の可視化



管理者向けアナリティクス

データの自動分析・可視化

利用状況、コース、受講者に関するデータを自動で抽出しデータを分析・可視化

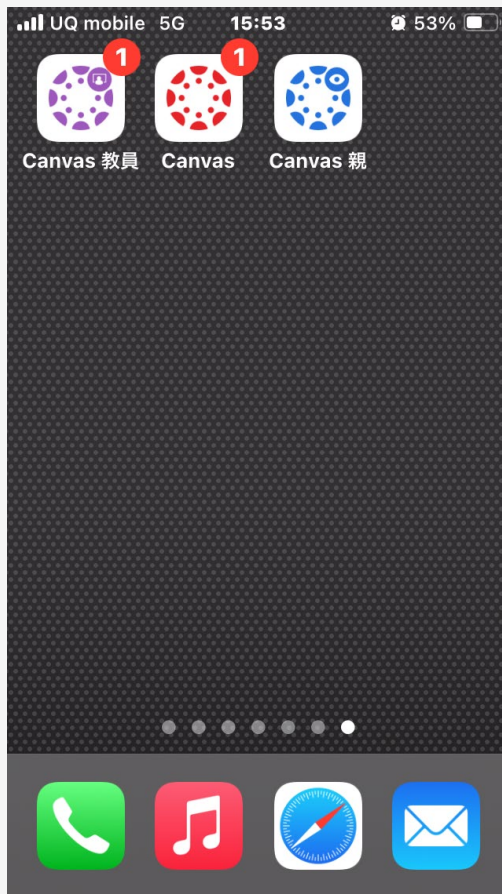
フィルターでの絞り込み

フィルター機能で、コース名、マルチテナント名、週・月単位など、該当のデータの絞り込みにも対応

データのダウンロード

データやグラフは、TXT、Excel、CSV、JSON、HTML、マークダウン、PNGなどの形式でダウンロードが可能

主要機能2: モバイル学習



場所を選ばない学習環境

専用アプリで学習体験を向上

iOS/Androidに対応したアプリで、受講者はスマートフォンからeラーニングを受講可能

通知機能でリマインド

締め切りや新着コンテンツの通知で学習を促進し、継続的な学びをサポート

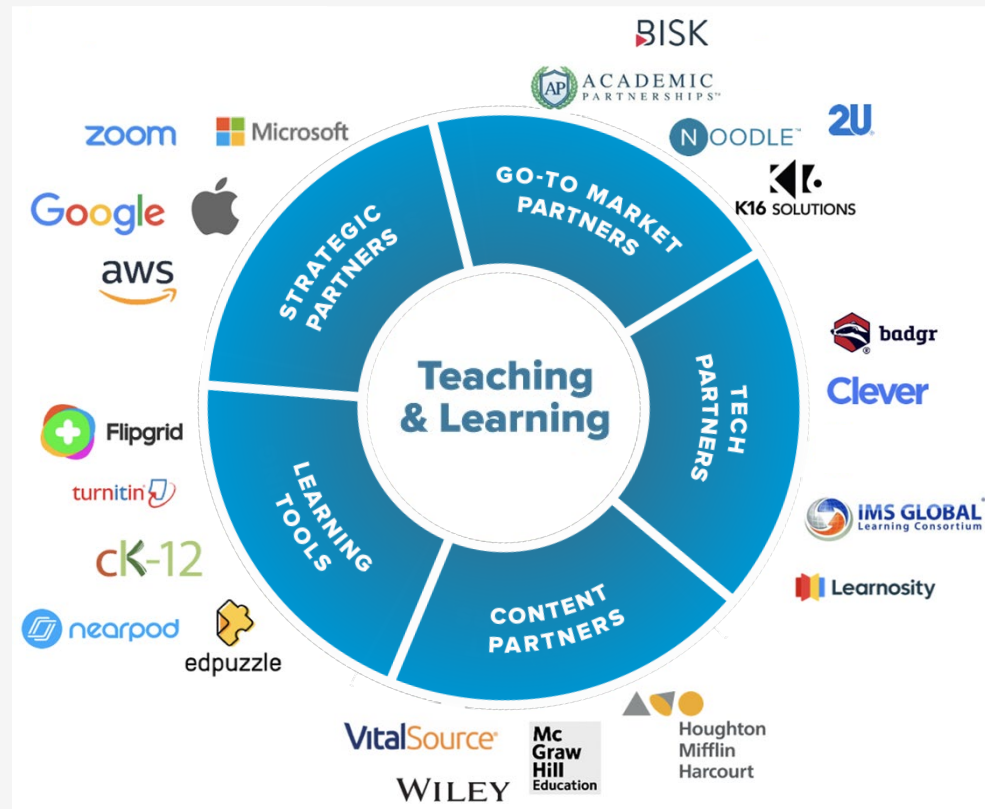
オフラインでの学習

ページなど、eラーニングのコンテンツを予めダウンロードしておくことで、インターネット接続が無い環境でも学習が可能

進捗状況の共有

直属の上長とペアリングを行うことで、上長は部下のeラーニングの進捗状況やテスト結果などを確認が可能

主要機能3: アプリとの連携



LMSの機能をさらに拡張

豊富なアプリとの連携

Office 365、Zoom、Dropbox、YouTubeなど、480以上の外部アプリと連携して、使用が可能

データとのシームレスな連携

オンラインストレージと連携することで、eラーニングのコースにデータを連携・使用が可能

柔軟な連携性

連携するアプリは、特定のコースでの使用やシステム全体での使用など、必要に応じた設定にも対応

主要機能4: 認証サービス



Resonant Solutions Co., Ltd. > 認証設定

認証設定

ユーザーが外部 ID プロバイダ (IdP) を通じて認証するには、このアカウントにリンクされ、かつIdPによって返される一意の ID と一致するログイン ID が必要です。ユーザーの現在のログインを確認するには、ユーザーのプロファイルページの「ログイン情報」を参照してください。([ユーザー]タブでユーザーを検索すると見つかります。)

たとえば、プロフィールページは次のとおりです。

SSO設定

ログインラベル
ログイン
固有のログイン識別子に使用されるラベル。例: ログイン、ユーザー名、学生IDなど

パスワード URL を忘れた場合
Canvas のデフォルトの動作でよい場合は、空白のままにします

ディスカバリーURL
検出URLが設定されている場合、認証が必要なときには、Canvas はすべてのユーザーをそのURLに転送します。そのページは、ユーザーがログインする必要がある場所を把握するのに役立ちます。検出URLが設定されていない場合、最初の設定がユーザーの認証試行に使用されます。

このアカウントに ID プロバイダを追加:

認証サービスを選択してください

- Apple
- CAS
- Clever
- Facebook
- Google
- LDAP
- LinkedIn
- Microsoft
- OpenID Connect
- SAML
- SAML IdP Discovery Service

様々な認証方法を追加可能

豊富な認証サービス

SAML、OpenID Connect、LDAP、Google、Microsoftなど、様々な認証サービスを追加可能

ユーザーごとの認証方法の設定

各ユーザーごとに、ログイン方法 (パスワード、SSO、OpenID Connectなど) を個別に設定が可能

セキュリティの強化

多要素認証 (MFA)、パスワードポリシーの設定、外部認証サービスの活用など行う事で、安全に利用可能

主要機能5: データ利活用



【Intelligent Insights】

データから洞察へ

自然言語でデータを抽出・可視化

自然言語で質問するだけで、AIがデータベースからデータを抽出、要約、可視化。専門知識が無くても、データ分析を簡単に実現

注意が必要な受講者の抽出

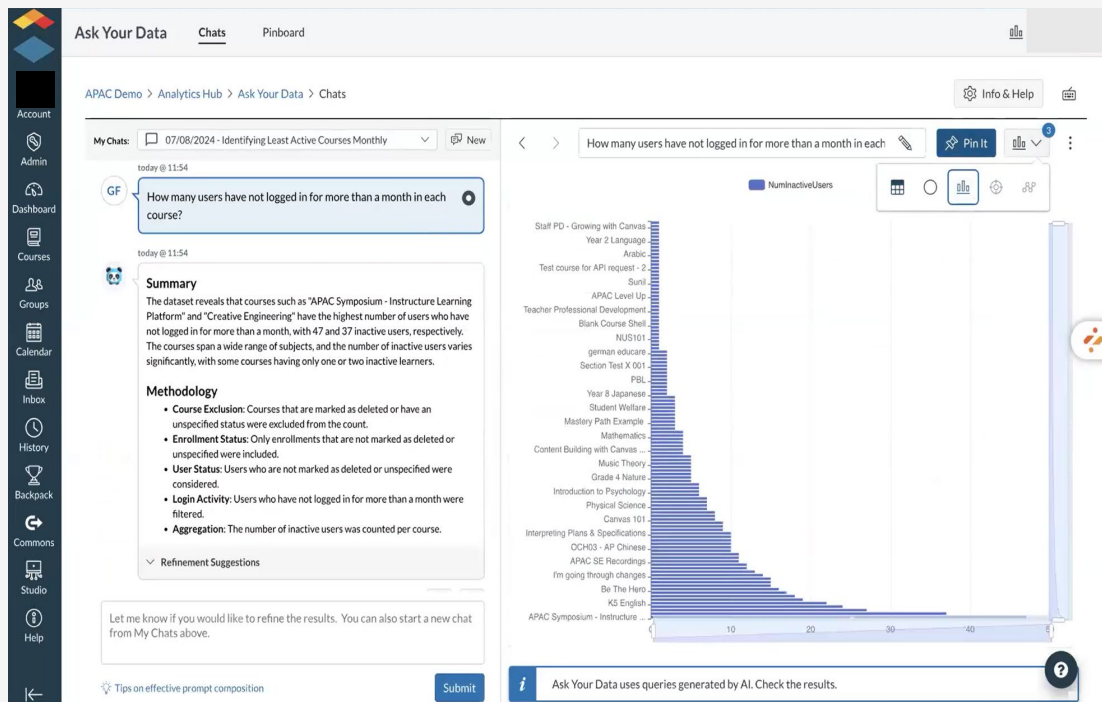
ボーダーラインの条件を設定するだけで、条件をクリアしていない受講者のデータを抽出・可視化。メッセージ機能でリマインドも可能

コースの準備状況の確認

コース内容の条件を設定して、どのコースが準備できていなかを表示。コース作成者にメッセージでリマインドも可能

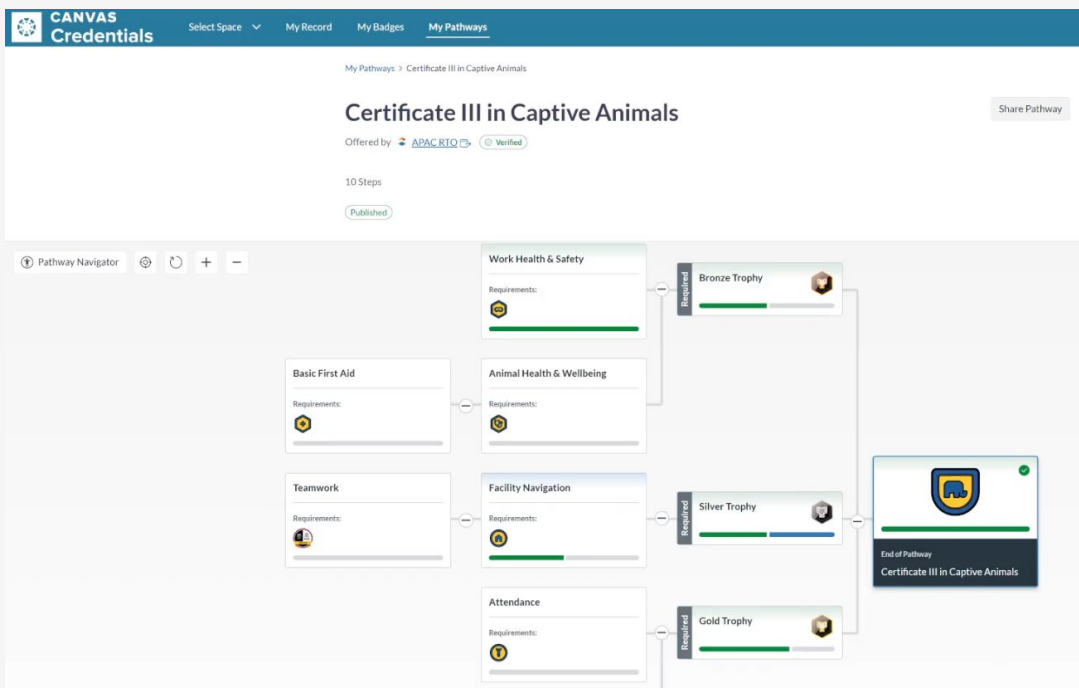
外部アプリの使用状況の確認

連携している外部アプリがどれくらい使用されているかをデータで抽出・可視化。アプリ、コースなどフィルターでの絞り込みにも対応



※Intelligent Insightsは、別オプションサービス

主要機能6: マイクロバッジ



※Canvas Credentialsは、別オプションサービス

【Canvas Credentials】

社員の能力を最大限に引き出す

スキルの可視化と明確化

社員が取得したスキルや学習成果を、具体的なデジタルバッジとして明確に可視化

学習モチベーションの向上

学習完了やスキル習得に対してデジタルバッジが付与されることで、達成感を得やすく、社員の学習意欲が向上

人材育成・タレントマネジメントの効率化

部署や役職ごとのスキルロードマップと、取得バッジに基づく最適な人材配置によって、組織全体のポテンシャルを最大化

主要機能7: ストリーミング動画



※Canvas Studioは、別オプションサービス

【Canvas Studio】

動画で知識・スキルを定着

自動字幕生成

アップロードされた動画は、音声を自動で認識し字幕を作成(多言語対応)。手動での字幕の修正・編集にも対応

動画内クイズ

動画の途中にクイズ(多岐選択、正誤問題など)の埋め込みが可能。理解度の向上や集中力の維持につながる

視聴データの可視化

動画の再生回数、ユニークビューア、受講者ごとの完了率をグラフで可視化。また、受講者ごとのデータはCSVファイルでダウンロードも可能



Canvas LMSの導入のメリット

1. 運用負担の軽減

システムの保守、アップデート、セキュリティ対策はすべてベンダー側で自動実行されるため、社内のIT部門の負担を大幅に軽減

2. トータルコストの削減

月額料金にサーバー、セキュリティなど必要な料金が全て含まれているため、予算管理が容易。また、作成できるコースの数も無制限

3. 時間・場所を選ばない学習

サービスは24時間365日利用可能。インターネット環境があれば、PC、スマートフォン、タブレットでいつでもどこでも学習可能

4. 自社ニーズに応じたコース設計

豊富な機能や外部アプリとの連携により、自社独自の研修コースを柔軟に作成。作成したコースは各社員のスキルロードマップに使用も可能

■お問い合わせ先

レゾナント・ソリューションズ株式会社

本社 / Resonant LMS テクノロジーセンター :

〒870-0917 大分県大分市高松1丁目2番27号サンオブサンエージェンシービル3F

TEL: 097-529-5310

メールアドレス: crm@resonant-sol.net

ホームページ: <http://www.resonant-sol.jp>

